

## ホオジロガモ (カモ科) 全長45cm

厳冬期の雄物川。

マイナス10℃以下の凍えるような川べりで、ホオジロガモの群れが元気に泳いでいた。



上流に向かってスイスイ。右端は雌。

10羽ほどが一行に並び、一斉に潜っては浮かび上がる動作を繰り返しています。餌は甲殻類や軟体動物、魚類、海藻等で、水草もよく食べるとされています。



オスは、黄色い目と白い頬がポイント。



右は雌と似ているが、頬がわずかに白いのでオスの若鳥でした。

オスは、頬の部分が白いので愛くるしく感じられます。メスは全体が褐色であり目立ちません。突然オスが頭を後ろに反らせて背中に乗せるようにし、そのあとクチバシを天に向ける動作を始めました。なんともユーモラスな行動ですが、メスに対する求愛ディスプレイです。



右のオスは、頭を後ろにカックンと倒して、メスにアピール中。



今度はクチバシを天高く突き上げた。

3月には他のカモ類と共に、数千キロも離れた亜寒帯の繁殖地に向います。今からつがいを形成し、長旅の絆を深めることでしょう。



水上を走るようにしてから飛び立った。



飛んでいる姿も美しかった。